

松ノ木小学校 コミュニティスクール 令和6年度活動報告

一年を振り返って

松ノ木小学校学校運営協議会 会長 高瀬 廣子



令和6年度は、学校運営協議会が設置されて13年目になります。しかしながら、学校運営協議会は何をしている組織なのか、皆様に伝え

られていないのが、ずっと課題でした。

学校運営協議会（コミュニティスクール、略称CS）の役割は、年度当初に学校長から提案される「一年間の教育方針」の承認及び学校運営に必要な人材を教育委員会に申請する等が主たる内容になります。その他タブレット等使用の健康課題や保護者からのご意見についての協議を年9回程度で討議しています。

また、来年度に向けて、CS委員会の在り方をさらに双方方向の意見交換がしやすくなるような会を検討しています。

「松小つながりカフェ」（仮称）、茶話会のように教育等を緩やかに話し合える、松小を核としたコミュニティの場に出ればと考えています。2月20日には、CS委員と教員でのプレ松小カフェを実施しました。お互い知り合うことで、より良い教育とともに考え、共有できると思っています。

なお、今年度をもちまして、私、高瀬はCS委員を退任とさせていただきます。

長期間、松ノ木小学校という公教育にかかわれたこと、大変意義深いものでした。とりわけ、児童が総合的学習の時間に作り上げた震災救済所の立ち上げから運営までの訓練や日々発信の松小日記等、圧巻の教育現場でした。たくさん

ありがとうございました

校長 笠原 秀浩



本年度も、学校運営協議会の皆様には、学校の応援団として温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。

皆様のご尽力により、

子どもたちの学びがより豊かになったことを実感する一年となりました。また、現在、学校運営協議会の皆様が、保護者や教職員のために新たな企画を考えてくださっています。

学校をより良くしようと尽力してくださるお気持ち、本当にありがたく、心強く感じております。

そして、十数年にわたり学校運営協議会を牽引してこられた高瀬委員長が、今年度末をもってご退任されます。

これまでの多大なるご尽力に、深く感謝申し上げます。今後も地域の一員として、温かく子どもたちを見守っていただければ幸いです。引き続き、学校と地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長を支える取組を進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

一年を振り返って

松ノ木小学校学校運営協議会 委員 浅賀 治喜

松ノ木スポーツフェスティバル、授業参観、移動教室、音楽鑑賞、展覧会鑑賞、松ノ木小学校の子供たちは、素晴らしい経験と思い出作りが出来たと思います。学校運営協議会では、校長先生からの学校運営の方針やビジョンの説明、子供たちの学校生活のお話を聞いてCSのメンバーと意見交換をしています。新年度から松小つながりカフェが始まります。皆さん参加しましょう。

月に一度の「松小つながりカフェ」で
ホッと一息つきませんか？



令和7年5月より、月に一回程度、保護者と学校運営協議会委員のメンバーが気軽に交流できる「松小つながりカフェ」をオープンします！「松小つながりカフェ」はテーマ別のオープンカフェ形式で、リラックスした雰囲気の中で対話を楽しむことができます。

5月のテーマは「子供達の新しい1年をどうサポートするか（仮）」です。お子様連れも大歓迎ですので、ぜひ気軽にお越しください。

詳細な日程やテーマは、決まり次第、学校だよりやホームページでお知らせします。



松小つながりカフェ先生をお招きしてプレオープン！



◎令和6年度 松ノ木小学校CS年間活動報告

令和6年4月19日	第1回学校運営協議会
5月22日	第2回学校運営協議会・給食試食会
7月8日	第3回学校運営協議会・中国視察団歓迎 / 授業観察
9月11日	第4回三校合同学校運営協議会
10月15日	第5回学校運営協議会
11月16日	第6回学校運営協議会・展覧会鑑賞
12月13日	第7回学校運営協議会・授業参観
令和7年1月16日	第8回学校運営協議会
2月20日	第9回学校運営協議会・教職員との交流会
3月18日	第10回学校運営協議会



松ノ木小・堀之内小・松ノ木中 3校合同会議の様子

◎令和6年度 コミュニティースクールメンバー紹介



- 笠原 秀浩（松ノ木小学校校長）
- 委員長 高瀬 廣子（元新宿区中学校養護教諭）
- 職務代理 瀬沼 宏章（元成蹊大学理工学部非常勤講師）
- 浅賀 治喜（元八幡通り商店会 松小6期生）
- 平澤 睦子（松ノ木中学校運営協議会委員）
- 須山 剛（松ノ木小学校PTA会長）
- 小林 麻里（松ノ木小学校学校支援本部委員）

☆CS（コミュニティ・スクール）とは地域住民や保護者の方々が合議制の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限をもって学校運営に参画し、教育委員会、校長と責任を分かち合いながら学校運営に携わることで、地域と共にある学校づくりを推進する仕組みです。

学校支援本部 松小ぷろっぷ 活動報告



松ノ木小学校学校支援本部《松小ぷろっぷ》の活動報告・決算報告は松ノ木小学校のホームページからご覧になれます。



新しい学校支援の形について考える
松小ぷろっぷ 代表 平戸香代

今年度も学校支援本部の活動が無事終了しました。この活動にご協力いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

さて、学校支援本部が設立されてから10年以上の月日が経過しました。時代の変化とともに、支援本部の活動も形を変えてきました。

設立当初は、PTAのつながりが今よりも深かった時代でした。そのため、支援本部のメンバーも多く、活動の幅も広がっていました。放課後のクラブ活動や土曜日の授業のサポート、松ノ木独自の企画であった「赤ちゃんとのふれあい授業」など、どの活動も意義のあるものでした。また、こうした活動を通じて、地域の方々や保護者同士の交流が生まれる場ともなっていたと思います。

しかし現在では、支援本部のメンバーも少なく、皆が仕事を抱えているため、かつてのように幅広い活動を行うことが難しくなっています。

PTA不要論がささやかれる今、支援本部のあり方についても改めて考える必要があると感じています。杉並区のホームページには、「学校支援本部は、地域の志のある人たちと一緒に、学校の教育活動などを支援するために設置された、ボランティアによる新しいネットワーク型組織です」とあります。しかし、本当に「新しい」と言えるのか。ボランティアという名のもとに、誰かが過度な負担を強いられることはないか。そうした課題を、今一度話し合う時期が来ているのではないのでしょうか。

とはいえ、課題が見えたときこそ、次のステップへ進むチャンスでもあります。本当の意味での「新しい」組織を、地域の皆さまのお力をお借りしながら、一緒に考えていければと思います。一年間、ありがとうございました。